

大学名 奈良国立大学機構

第74号 特集タイトル
「未来社会に向けた教員養成」

表題 法人統合に伴う二大学(奈良教育大学・奈良女子大学)の連携強化による教員養成の進化

【概要】ともに師範学校をルーツとする奈良教育大学と奈良女子大学は、令和4年度に法人統合し「奈良国立大学機構」として発足した。教職課程の強み(奈良教育大学)と専門教育の強み(奈良女子大学)を提供し合い、機構傘下の産地学官・国際交流・教養教育と総合知育成の仕組みを活かし、これまで為し得なかった「幅広い視野・教養、高度な専門性と実践力を持ち、次代を牽引し社会をリードできる教員」の養成に取り組んでいる。

「大学を結び、知を紡ぐ」

奈良教育大学のミッション

次代を牽引する教員の養成

1. 人・環境・文化遺産との対話を通じた教育の追究
2. 持続可能な社会づくりに貢献できる教員の養成
3. 教員養成と教員研修の融合

奈良国立大学機構のミッション

ともに未来を拓き、文化を醸成し、社会創造に貢献する

1. 総合知を持つ人材の育成
2. 特色ある高度な学術研究推進
3. 国際的な知の交流の推進
4. 地域と社会への貢献

連携教育開発
センター

奈良カレッジズ
連携推進センター

国際戦略
センター

奈良女子大学のミッション

社会をリードする女性人材の育成

1. 男女共同参画社会をリードする人材の育成
ー女性の能力発現をはかり情報発信する大学へー
2. 教養教育、基礎教育の充実と専門教育の高度化
3. 高度な基礎研究と学際研究の追究
4. 開かれた大学ー国際交流の推進と地域・社会への貢献ー

基盤的な取組

- ① 機構内に「連携教育開発センター」「奈良カレッジズ連携推進センター」「国際戦略センター」を設置。
- ② 教養科目や教職科目を両大学で共同開設。両者のアカデミックな資源の有効活用を推進。
- ③ 毎夏に「奈良カレッジズ学問祭」を実施。学内外の教員や専門家が講座を提供。学問に誘う教養と、分野・領域を横断し「総合知を築く力の育成」を目指す。

実施中の具体的な取組

- ① 奈教大(奈女大)の専任教員が奈女大(奈教大)の教職科目を兼任。インセンティブとして教員研究費の追加配分。
- ② 奈教大が開講の教職科目の一部を連携開設科目として奈女大の教職課程において展開。
- ③ 奈教大で必修の学校体験活動(「学校フィールド演習Ⅰ」)を奈女大選択科目として共同運用。
 - ・フィールドは、奈教大附属学校と奈良市内の小・中学校に加え、奈女大附属学校でも実施。
 - ・ガイダンスと報告会はオンライン実施(必要に応じて一部対面)。
- ④ 「奈良カレッジズ連携推進センター」が主導する『「学生×まち・企業」未来共創支援』等に教員を志す学生が参画し、社会的視野の拡大を図る。
- ⑤ 「国際戦略センター」の取組に教員志望学生が参画。国際性の涵養。

期待される今後の可能性

人口減少社会において教職課程の急速な規模縮小が危惧される。

今後、本取組による優れた実績の蓄積と発信により、教職課程を有する複数の国立大学の多様な連携(教育大学同士、教育大学と開放制一般大学、開放制一般大学同士)のモデルになることを期待。

また、将来的には、設置者の違いを超えた広域での教職課程の共同運用のモデルになることも期待。